

第 1 回 木曾川・笠松エリア利用調整協議会 結果概要

I.開催日時

令和 3 年 11 月 2 日（火） 10：00～12：00

II.会場

笠松町役場 4 階 大会議室

III.次第

1. 開会
あいさつ 笠松町長 古田 聖人
2. 要綱の確認ならびに委嘱と役員選任
3. 事業概要等の確認
(1) 「リバーサイドタウンかさまつ計画」における事業概要について【資料 1・2】
(2) 都市・地域再生等利用区域について 【資料 3】
4. 本協議会について 【資料 4】
(1) 目的・事業における協議会の位置づけなど
(2) スケジュール
5. 議事
(1) 事業内容・進め方 【資料 5】
実施内容・工程・課題など
(2) 社会実験について
目的・内容・参加形態・実施時期・課題など
(3) 追加提案 【別紙】
事業内容・社会実験内容・課題など
6. その他
(1) 次回の予定

IV.出欠状況

以下のとおりであった。なお、古田聖人町長の出席も得た。

表 第 1 回木曾川・笠松エリア利用調整協議会出欠状況

【委員】

区分	選出団体	役職等	氏名	出欠
学識経験者	岐阜大学 流域圏科学研究センター	准教授	原田 守啓	○
地域代表	笠松町町内会連合会	会長	山田 忠正	○
各種団体	笠松町商工会	副会長	加藤 大武	○
	オアシスパーク	取締役統括本部長	松永 武久	○
	十六銀行笠松支店	支店長	川合 毅	○
	笠松競馬場	参与	坂本 浩之	○
	笠松町プロモーション協会	副会長	市川幸一郎	—
	笠松みなと公園 SUP 同好会	管理者	塚本 幸典	○
行政	かさまつバザール	代表	柚木 那実	○
	笠松町議会	議長	田島 清美	○
	笠松町	副町長	川部 時文	○

【オブザーバー】

区分	選出団体	役職等	氏名	出欠
行政	木曾川上流河川事務所	事業対策官	高橋 由典	○

【事務局】笠松町 企画環境経済部企画課・建設部建設課

※.敬称略

V.配付資料

配付資料は以下のとおりであった。

- ①次第
- ②木曾川・笠松エリア利用調整協議会設置要綱
- ③委員名簿
- ④配席表
- ⑤資料 1 「リバーサイドタウンかさまつ計画」における事業概要
- ⑥資料 2 「リバーサイドタウンかさまつ計画」について
- ⑦資料 3 都市・地域再生等利用区域について
- ⑧資料 4 木曾川・笠松エリア利用調整協議会について
- ⑨資料 5 事業計画（案）（2021 年度）
- ⑩事業等の追加提案について（記入用紙）
- ⑪木曾川・笠松エリア 利活用 年間計画の作成について（記入用紙）
- ⑫配付資料一覧

VI. 結果概要

以下のとおりであった。

表 第1回 木曽川・笠松エリア利用調整協議会 協議結果の概要

項目	決定事項	
事務事項		
委嘱等	<ul style="list-style-type: none"> ・委員への委嘱が行われた。 ・会長と副会長が選任され承認された。 	
協議会について	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の今後の予定（内容、スケジュール等）について了承を得た。 ・協議会は、現体制で当該河川エリアの利用調整を図っていくものとし、事業者の応援をするかたちをとる。 ・協議会に、ステークホルダーとして新たな団体等の参加を得ることもあるが、事業に関する分野から網羅的に参加を得る必要はない。 ・協議会に、事業者（プレーヤー）の参加を得ることも可能ではあるが必須とはせず、オープンに当該河川エリアでの事業に受け入れていく。 	
議事内容	委員意見	対応方針
町長の期待事項	<ul style="list-style-type: none"> ・笠松町の差別化を徹底的に図っていくこと。 ・委員自身が好きなことを楽しむこと。 	大きな方針として取り込んでいく。
事業計画	・本年度の事業計画の方向性について了承を得た。	計画に従い進めるものとする。
	・都市・地域再生等利用区域の指定を目指し、事業展開していくことについて合意を得た。	社会実験を経て申請を行う。
	・コンセプトは「差別化による笠松町のブランディング」とする。	このコンセプトの下、事業を進展させていく。
	・ターゲットの明確化も必要で、エリアとしては「地元も重視しつつ愛知県も含めた広域、将来的には東京・大阪」	スモールスタートで事業を進展させつつ実績を積み、話題性を高め集客力の向上を図る。また、事業者自身でそれぞれのターゲット設定もしていくかたちとする。
	・コンセプトの実現・ターゲット獲得のための積極的な情報発信を行う。	事業者自身による情報発信も含め、SNS等を効果的に活用しPRを図る。
	・デザイン、おしゃれな感覚、ITなど、様々な要素が事業には必要。	今後、人材やネットワークを順次広げていく。
	・他の地域の運営者との交流もつと良い。	まず先進地の視察等を行う。
事業内容等	・SUPについては興味を持っていただけ、需要はあると思われる。	可能な事項は実験段階から取り入れ、事業内容として順次発展を図る。
	・笠松町の魅力をこれまでもアピールしてきたが、地元と一緒に今後も発信できればと思う。	
	・「笠松みなと公園」は、自然もあり非常に良い所であるため、地域を盛り上げるには大変に良い場所である。	
	・これまで実施してきたイベントとは違うことに取り組んでいけると良い。	
	・サイクリングロードのさらなる活用やテントを張っての活動など、一層楽しいアクティビティができるとう良い。	
	・事業を立ち上げた後、どのように継続し、収益を上げながらどのように運用していくか、というような観点が必要。	
	・差別化では「結ぶ」という視点が大事で、他の町とこの町をどう結ぶかによってこの町の違いが出てくるのではないか。	
	・笠松町は高齢化が進んでおり、そうしたことも踏まえ、今後にぎわいづくりをどう進めていったら良いか考える必要がある。	
・これまでのまち中でのイベントや、まちの中で活躍してきた人々を川の方に呼び込むといったことを、協議会を通じてできれば、良いものになるのではないか。		
社会実験	・事業実施に向け社会実験を実施する（コロナの制限がなければ今年度に開始）。	クローズ型で社会実験を実施する。※昨年度のヒアリング対象事業者による実験。各実施候補者と今後調整を進める。
	・協議会で実験の方向性を固めた場合も、事業者側との調整が必要。	事業候補者と調整を進める。
	・当該河川エリアにおける事業者（プレーヤー）が、企画段階から参画可能な仕組みづくりを行う（これ自体も実験の一環ではないか）。	クローズ型社会実験を経て、順次このかたちに発展させていく。
事業や実験への追加提案等	・事業や社会実験について、追加の内容があれば後日提案を得る。	後日提案を送付いただく。
	・「笠松みなと公園」で自団体や他団体が実施している事業内容・エリア・時期等について、可能な範囲で後日照会を得る。	後日照会を得る。